

## 令和3年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

事業実施主体	沖縄東京計装株式会社
プロジェクト名	ロボットアームを活用した自動生産ラインの高度化
事業内容	当社は計装機器の自動生産ラインの構築を進めてきた。近年、顧客からダウンサイジングの要望があるものの、今の技術では生産ができない。本事業では新たに最先端センシング技術を搭載したロボットアーム導入し、新規格に対応した自動生産ラインの構築を行う。
今後の計画	2022年度：海外 アジア向け88,740kg、国内（輸出販売のみ） 2023年度：海外 アジア向け90,480kg、国内（輸出販売のみ） 2024年度：海外 アジア向け92,220kg、国内（輸出販売のみ）
最終目標と現状	最終目標）令和8年度までに、アジア諸国へ流量コントローラーの輸出量95 t（売上金額2,860,000,000円） 現状）搬出状況等 受注は好調であるが、部材不足で搬出量が減少する可能性がある。足元で、売り上げベースで月2億円程度を海外販売している。
補助事業の効果	事業内容）夜間自動運転に向けた作業精度の向上を重点的に実施した。  従来の生産ラインでは、ナット回し作業の精度が低かったため、無人状態での運転のためには不確実な要素が多々あった。 しかし、ロボットアームver.4の導入によって、作業の精度が大幅に高まったため、ピスコ社製の継手を生産ラインに組み込み、ナット回し作業なしで検査に必要な通水管の接続が行えるようになった。

写真・図

